取扱説明書

IH クッカー
KM 5943 / KM 5948 / KM 5975

ja - JP

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

M.-Nr. 07 594 120

目次

安全上のご注意

表示	表示の意味
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例	
	禁　止（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
	強　制（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
	注　意（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	禁止行為		潜在的な危険・警告・注意
	分解禁止		感電注意
	水場、湿気の多い場所での使用禁止		機器に損害を与える可能性のある場合
	接触禁止		発火注意
	強制 / 指示		高温注意
	電源接続に関する注意		破裂注意
	必ずアース線を接続		

安全上のご注意

IH クッカーの不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

警　告

本製品は、関連するすべての法律上の安全要件を満たしています。ただし、本製品を不適切に使用した場合、人体への危害および物的損害をもたらすことがあります。

事故や製品の破損を防ぐために、本製品を初めてお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。本書には、本製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、実際のご使用やお手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

取り付けと接続

本製品を設置する前に、損傷がないかチェックしてください。損傷の見られる IH クッカーは設置、使用しないでください。
誤った設置や接続による損傷については製造者責任を負いません。

必ずD種設置工事を施してください。

故障や漏電の時に感電する恐れがあります。（電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。）

電気工事はすべて電気工事設備基準に準じて行ってください。

本製品は、単相 200V30A 専用回路に接続してください。

警　告

本製品は現行の安全基準に準じて製造されています。修理技術者以外の方による修理、改造、分解は行わないでください。
これによるいかなる損害も製造業者は責任を負いません。修理が必要な場合は販売店またはミーレ指定サービス店にご連絡ください。

浴室や風雨にさらされる場所など湿気の多い場所には設置しないでください。（感電・火災・故障・変型の恐れがあります。）

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、また濡れた手で抜き差ししないでください。（感電やけがをすることがあります。）

お手入れの際などに、本体各部に水をかけないでください。

本製品を、延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。
過熱、発火、感電などの恐れがあります。

安全上のご注意

警　告

本製品はビルトイン専用です。キッチンへの据付、結線は専門技術者以外は絶対に行わないでください。
火災や感電、ケガの恐れがあります。

本製品はビルトイン式の食器洗い機、食器乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫、冷凍冷蔵庫などの上に設置することはできません。

本製品から放出される高温によって、下の機器および本製品の換気システムに損傷を与える場合があります。

本製品は、船舶での使用、およびトレーラーハウスや航空機などの移動性の環境での使用を考慮して設計されたものではありません。ただし、適切な資格を持つ専門技師による危険性評価で問題なしと判断された場合は、このような環境で使用しても差し支えない場合があります。

警　告

正しくお使いいただくために

初めて使用する前には必ずこの説明書をお読みいただき、事故の危険性をさけ、本体を傷つけないようにしてください。
この説明書には、安全、操作および本製品のお手入れに関する重要なご注意が記載されています。

安全のために本製品は必ず据付後に操作してください。これは、すべての電気構成部品を保護するために必要です。

本製品は家庭用です。業務用としての使用はできません。

本製品は、調理にのみ使用してください。その他のすべての用途は危険をもたらす可能性があり、所有者の責任になります。本製品の誤った使い方による損傷については、製造者責任は負いません。

使用中は十分な換気をしてください。

本製品は、屋外に設置したり、屋外で使用したりしないでください。

⚠ 警　告

お子様に対するご注意

本製品は、大人だけがこの取扱説明書を読んだ上で操作することを前提としています。

本製品は玩具ではありません。ケガや事故を起こさないように、お子様が本製品に近づかないようにし、IH クッカーやそのスイッチ類を触らないようにしてください。
小さなお子様は、機械の危険性を理解していません。キッチンで作業をする場合は、お子様から目を絶対に離さないでください。

大きいお子様の場合は、操作方法を明確に説明し、誤った使用の危険を認識して、安全に使用できる場合に限り、本製品を使用できます。

お年寄りや介護を要する方が使用する場合は、他の方が十分に注意してください。

お子様が IH クッカーを操作したり、設定を変えたりしないように、セーフティロックを使用してください。

IH クッカーは、使用中高温になり、電源を切った後もしばらく熱くなっています。
やけどなどを防止するため、IH クッカーの温度が十分下がるまで、お子様を近づけないようにしてください。

⚠ 警　告

セラミックプレートの上側や隣りの収納棚にはお子様の興味をひくようなものを置かないでください。上がろうとして、やけどする恐れがあります。

なべなどはお子様の手が届かないようにしてください。取っ手は手前に向けないで、内側にしてください。やけどする恐れがあります。

密閉フィルム、ポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。

使用済みの器具は電源から外し、プラグは切り離して使えないようにしてください。
さらに、後壁の根元で電源コードを切断し、廃棄するまでの保管中、お子様への危険がないようにご注意ください。
この作業は必ず有資格者が行ってください。

安全上のご注意

警　告

本体を傷めないために

上からものを落とさないでください。塩入れなどの軽いものでも状況により損傷することがあります。

底に鋭い角や凹凸のあるケトルやなべなどは使用しないでください。セラミックプレートの表面がこすれて傷が付くことがあります。塩や砂粒でも傷つくことがあります。

熱くなったセラミックプレートに、固体または液体の砂糖、プラスチック片やアルミ箔を置かないでください。万一置いてしまった場合は、電源を切り、やけどに注意しながら、プレートが熱いうちに残っている砂糖やプラスチック、アルミを傷の付かないスクレーパで丹念にこすり落としてください。これらが溶けてそのまま冷えると、セラミックプレートに穴が空いたり、ひびが入ることもあります。本体が冷めたら、クリーニングしてください。こぼしたものなどが燃えるのを防ぐために、汚れはできるだけ早く取り除き、なべの底はきれいに乾いた状態で油などが残っていないようにしてください。

本製品の清掃にスチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。高圧蒸気で表面や部品を損傷することがあります。このような損傷は、保証対象外となります。

警　告

熱くなったなべを操作部の近くに置かないでください。電子部品が損傷する恐れがあります。

IH クッカーの真下に引き出しが付いている場合は、IH クッカーの換気が十分に行われるように、引き出しや中身と IH クッカーの下部の間に十分な空間があることを確認してください。

ゴキブリやその他の害虫が発生しやすい環境では、本製品とその周辺を清潔な状態に保つように特に注意が必要です。ゴキブリやその他の害虫による損傷は、本製品の保証対象外となります。

本製品に磁気を近づけないでください。

トッププレートやフレーム部分に、酸の強い食品がついた場合は、すばやくふき取ってください。（レモンやジャム、酢など）変色のおそれがあります。

機器本体下部にキャビネットがある場合、調味料や食品を保存しないでください。

⚠ 警　告

やけどや火災をおこさないために

IH クッカーの表面は、使用中高温になり、スイッチを切った後もしばらく高温状態が続きます。余熱表示ランプが消えるまで触らないでください。やけどする恐れがあります。

やけどしないよう、本製品の使用時は、耐熱性のなべつかみやミトンを使用してください。ただし、なべつかみやミトンを濡らさないように注意してください。濡れていると熱が早く伝わり、やけどする恐れがあります。

内圧が高まり、破裂することがあるため、缶詰などを密閉したままで加熱しないでください。
そうしないと、負傷したりやけどしたりすることがあります。

本製品を物の置き場所に使用しないでください。余熱が残っていたり、意図せずに電源が入ったりすると、上に置かれたものが溶けたり、発火する恐れがあります。

⚠ 警　告

金属製のフォーク、ナイフ、スプーンおよびフタ等をセラミックプレート上に載せないでください。熱伝導で熱くなり、やけどの恐れがあります。

本製品を布やアルミ箔などで覆わないでください。意図せずに電源が入ったりすると、発火する恐れがあります。

油を使って調理する場合は、過熱によって発火する恐れがありますので、絶対にそばを離れないでください。熱くなった油に火がついたり、IH クッカー上のレンジフードに引火する恐れがあります。
油は状態を見ながらゆっくりと加熱してください。

揚げ物調理の際は、200g 未満の油で調理しないでください。火災のおそれがあります。

万が一、油や脂肪分が引火した場合には、水で消火しないでください。防火用毛布や、なべのフタ、濡れタオルなどで覆って消火してください。

レンジフードの下では、フランベ（酒をかけて火をつける調理法）をしないでください。
IH クッカー上のレンジフードに引火する場合があります。

安全上のご注意

警　告

故障のとき

セラミックプレートが割れたり、傷やひびが入ったりした場合には、ただちにスイッチを切り、電源を外してください。点検修理を依頼して、損傷したセラミックプレートを交換するまでは、再び電源を入れて使用することのないようにしてください。感電する恐れがあります。本体が完全に設置されていない場合は、電源コードはコンセントから抜いたままにしておいてください。電源プラグとソケットで接続されている場合は、ソケットの電源を切って、電源プラグを抜いてください。ケーブルではなく、電源プラグの部分を持って、引っ張ってください。そして「ミーレ・コールセンター」までお問い合わせください。

煮こぼれしたものがひび割れから電気部品に浸透することがありますからそのまま使用することは危険です。

安全を確保するため、すべての修理は有資格者が行う必要があります。無資格者による修理は大変危険です。
また、IH クッカーが損傷する恐れがあります。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。決して外部ケースを開けないでください。

警　告

保証期間中の修理は、ミーレ認定サービスマンによって行われなければなりません。
ミーレ認定サービスマン以外による修理は保証対象外となります。

本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。

電磁波の影響について

心臓用ペースメーカーをお使いの方へ！
IH クッカーの近くは電磁性を帯びるため、ペースメーカーに影響を与える可能性があります。ご不明な点がある場合は、ペースメーカーの製造業者または担当医師にご相談の上ご使用ください。

不必要に電磁場にさらされるのを防ぐため、調理ゾーンの中央になべを置くようにしてください。

クレジットカードやフロッピーディスク、小型計算機など磁界の影響を受けやすいものの損傷を防ぐため、これらのものを IH クッカーの近くに置かないでください。

その他の安全に関する注意事項

本製品近くのコンセントを使用するときは、熱くなった本体に電気コードが触れないように注意してください。コードの絶縁物が損傷し、感電する恐れがあります。

⚠ 警　告

調理したり温め直したりする場合は、食品を十分に加熱してください。
全体的な調理時間は、食品の大きさ、量、温度など、多くの要因に影響されます。
食品の中には、高温で十分に加熱しなければ死滅しない細菌が含まれているものもあります。そのため、鶏肉などの食品を調理したり温め直したりする場合は、食品に完全に熱を通すことが非常に重要です。疑わしい場合は、調理または加熱時間を長くするか、食品を廃棄してください。

プラスチックやアルミ箔の容器を使用しないでください。高温で溶けてセラミック表面を損傷することがあります。発火する恐れがあります。

決して外部ケースを開けないでください。
電気接続や構成部品、機械部品にみだりに触ることは非常に危険であり、操作エラーの原因となる場合があります。

ガラス製の縁のある本製品では、設置後、最初の数日間は本体とワークトップの間に小さな隙間が見える場合があります。
この隙間は本製品を使用していくにつれて小さくなり、本製品の電気的安全性には影響しません。

⚠ 警　告

IH クッカーの下に引き出しを取り付ける場合は、必ずその間に底板を入れてください。また、引き出しの中にはエアーゾルや可燃性の液体、または簡単に燃えやすいものはしまわないでください。包丁入れなどを引き出しに入れる場合は、耐熱の部材でできたものをご使用ください。

ペットなどが本製品に乗ると、スイッチに触れて、調理ゾーンのスイッチが入ることがあります。ペットは絶対に本製品に近づけないようにしてください。

通電中はお子様を近づけないでください。

「安全上のご注意」を守らなかったことによって発生した損傷や故障は、保証対象外となります。

環境保護のために

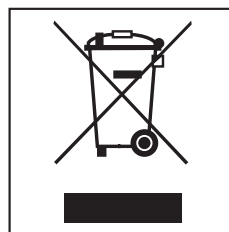
梱包材の廃棄処分

輸送時の梱包材および保護用の詰物は、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、リサイクルすることができます。

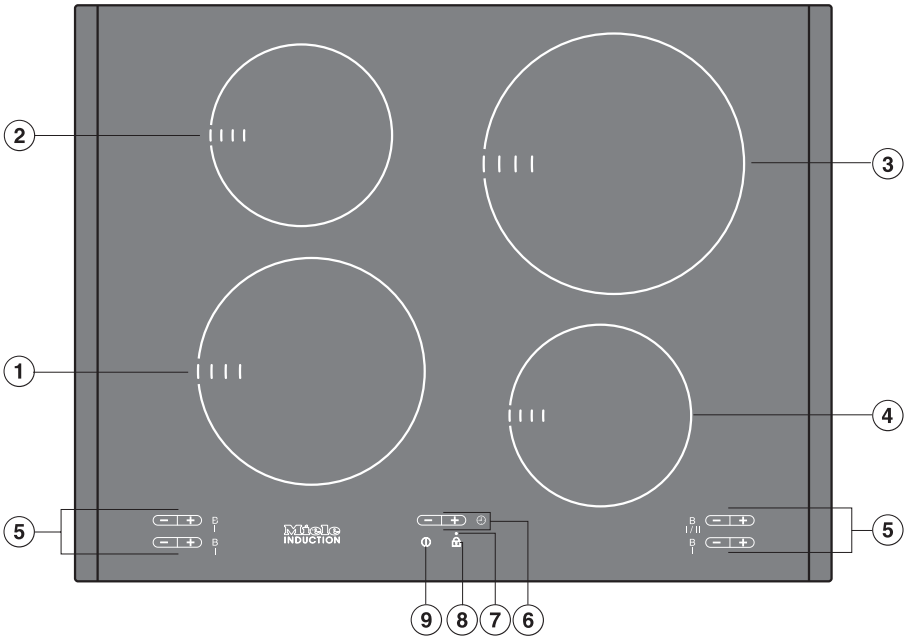
密閉フィルムやポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。

梱包材は単に廃棄するのではなく、なるべく、リサイクルにご協力ください。

使用済み器具の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。
ただし、このような物質は機器が正常に機能するために不可欠な物質です。
したがって、不要になった機器は家庭ゴミとしては出さないでください。

不要になった電化製品や電子機器は、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、販売店に相談してください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

使用済みの器具を処分する前には、有資格者がスイッチを切り、電源から外してください。

KM 5943

①②④　シングルブースター付き調理ゾーン

③ ツインブースター付き調理ゾーン

⑤ 調理ゾーン操作と表示パネル（「調理ゾーンのセンサーと表示」の項を参照）

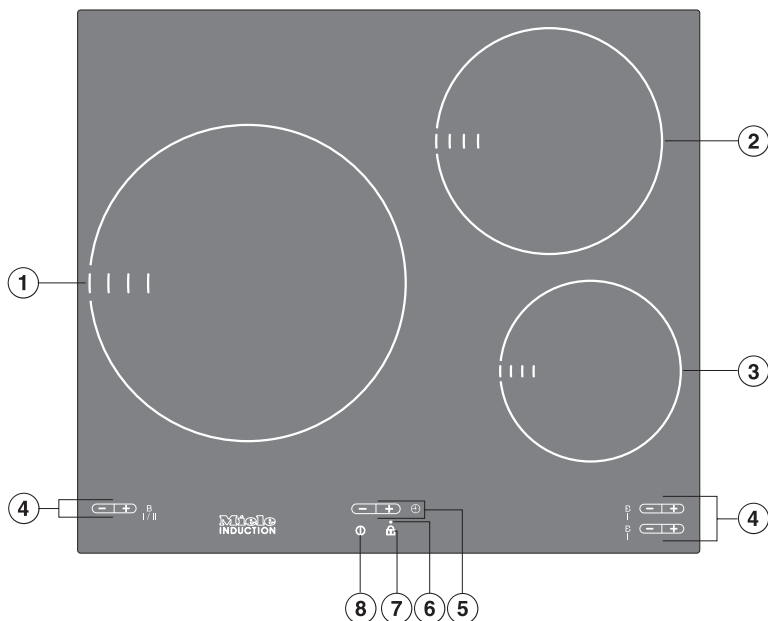
⑥ タイマー操作と表示パネル（「タイマー操作と表示」の項を参照）

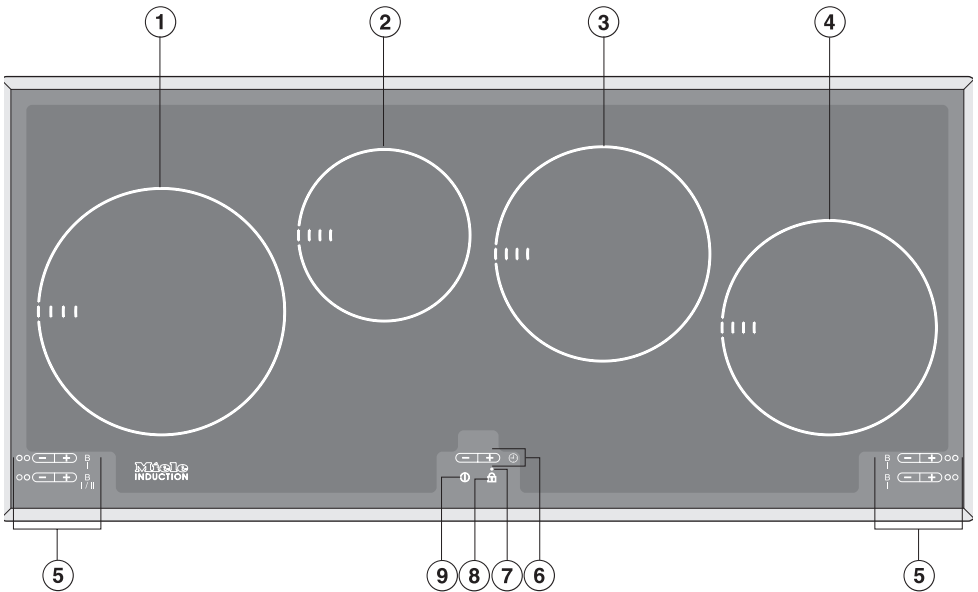
⑦ セーフティロック表示ランプ

⑧ セーフティロックセンサースイッチ

⑨ IH クッカー本体 ON/OFF センサースイッチ

各部の名称

KM 5948

① ツインブースター付き調理ゾーン
②③　シングルブースター付き調理ゾーン
④ 調理ゾーン操作と表示パネル（「調理ゾーンのセンサーと表示」の項を参照）
⑤ タイマー操作と表示パネル（「タイマー操作と表示」の項を参照）
⑥ セーフティロック表示ランプ
⑦ セーフティロックセンサースイッチ
⑧ IH クッカー本体 ON/OFF センサースイッチ

KM 5975

① ツインブースター付き調理ゾーン

②③④　シングルブースター付き調理ゾーン

⑤ 調理ゾーン操作と表示パネル（「調理ゾーンのセンサーと表示」の項を参照）

⑥ タイマー操作と表示パネル（「タイマー操作と表示」の項を参照）

⑦ セーフティロック表示ランプ

⑧ セーフティロックセンサースイッチ

⑨ IH クッカー本体 ON/OFF センサースイッチ

各部の名称

調理ゾーンのセンサーと表示

（例）

① 次の内容が表示されます。

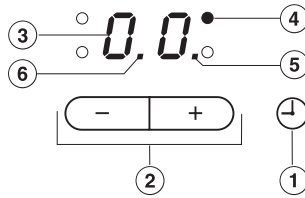
0	= 調理ゾーン使用可能
h	= 保温機能
1 ～ 9	= 火力調節
I	= シングルブースター
II	= ツインブースター
⁼	= 余熱表示
⊻	= 調理ゾーンになべが載っていません。または、なべが不適切です。（「誘導加熱」の項を参照）
F	= エラー（「切り忘れ防止」の項を参照）
A	= 拡張火力調節されたときの自動加熱
P0	= プログラム（「プログラミング」の項を参照）
S0	= ステータス（「プログラミング」の項を参照）

② 自動加熱、または拡張火力調節表示ランプ（「プログラミング」の項を参照）
例）手前左側調理ゾーン

③ ブースター表示ランプ

④ ブースターセンサースイッチ

⑤ 火力調節センサースイッチ

タイマー操作と表示

① タイマー起動センサースイッチ、調理ゾーンの機能と自動スイッチオフ選択との切り替え
② 時間設定センサースイッチ
③ 時間表示
④ 自動スイッチオフ表示ランプ（例：奥右側調理ゾーン）
⑤ キッチンタイマー操作ランプ
⑥ 30 分単位のキッチンタイマー（99 分以上の場合）操作ランプ

各部の名称

調理ゾーン

調理ゾーン	KM5943
	最小ー最大直径 φ(cm)*
	14 ― 20
	10 ― 16
	16 ― 23
	10 ― 16

調理ゾーン	KM5986
	最小ー最大直径 φ(cm)*
	16 ― 23
	10 ― 16
	14 ― 20 / 20 × 30
	14 ― 20

調理ゾーン	KM5948
	最小ー最大直径 φ(cm)*
	18 ー 28
	14 ー 20
	10 ー 16

調理ゾーン	KM5975 / 5985
	最小ー最大直径 φ(cm)*
左側	16 ー 23
中央左側	10 ー 16
中央右側	14 ー 20
右側	14 ー 20

* 指定の範囲内の直径のなべならどれでも使用することができます。

初めてお使いになる前に

初めてお使いのときのクリーニング

保護ビニールやシールをすべてはがしてください。

本製品を初めてご使用になる前に、湿った布だけで拭き、柔らかい布で拭き取ってください。

セラミック表面には落ちにくくなる青い光沢が残るので、食器洗い用の洗剤は使わないでください。

初めてお使いになる前に

斜端のガラストップがついた IH クッカーに関しては、設置後、数日間は本体とガラストップの間にすき間が見えることがあります。このすき間は本製品の電気的な安全性には関係なく、本製品を使い続けるうちになくなっていきます。

本製品を最初に加熱したときに多少臭う場合があります。
しばらくすると臭いや煙はなくなります。
この臭いは、人体に害はなく、本製品の接続障害や本製品の故障を示すものではありません。

誘導加熱原理

各調理ゾーンの下には誘導コイルがあります。調理ゾーンの電源を入れると、このコイルによって磁界が発生し、なべの底が加熱されます。調理ゾーン自体は、なべから伝わる熱によって間接的に熱くなります。

誘導加熱調理ゾーンは、磁性体の底を持つなべが置かれた場合のみ加熱されます（「なべ」の項を参照）。

誘導加熱では、なべの大きさが自動的に認識されます。つまり、なべの底で覆われた部分のみが加熱されます。

次のような場合には、調理ゾーンは加熱されません。

– 調理ゾーンに何も乗せないでスイッチを入れた場合や、なべが非磁性体の底だったりなど、不適切だった場合。

– なべ底の直径が小さすぎる場合。

– 調理ゾーンの電源が入っている間、調理ゾーンからなべを下ろした場合。

この場合、調理ゾーンの表示部で ⊻ 記号が点滅を始め、0 または前回選択した火力設定と交互に表示されます。

使用に適したなべを調理ゾーンに 3 分以内に置くと、⊻ は消え、通常どおり使用を続けることができます。

なべを置かなかったり、使用に適さないなべを調理ゾーンに置くと、3 分後に自動的に本体のスイッチが切れます。

本製品の上にはカトラリーや金属製品を載せないでください。本製品の電源を入れた場合や余熱が残っている場合、金属製品が熱くなり、やけどの危険があります。使用後は調理ゾーンのスイッチを切ってください。

ノイズ

誘導加熱調理ゾーンを使っていると、なべの材質と構造によってはなべに次のようなノイズが発生することがあります。

- 火力レベルを高くすると、ブーンとうなるような音を出すことがあります。火力レベルを低くすると、この音は小さくなるか、止みます。
- なべの底が異なる材質の層でできている場合（サンドイッチ構造）、パシッという音がする場合があります。
- 連結ゾーン（「ブースター」の項を参照）を最大火力レベルで同時に使用したり、使用しているなべ底が何層もの異なる材質でできている場合、ヒューツと笛のような音が出ることがあります。
- 火力レベルが低い場合、電源スイッチからカチッという音が聞こえる場合があります。

本製品には電子部品の耐用年数を延ばすため冷却ファンが搭載されています。IH クッカーを長時間最大火力レベルで使用すると、冷却ファンが作動して、ウィーンと言う音を立てます。IH クッカーのスイッチが切れた後も、冷却ファンは運転を続けることがあります。

なべ

次のなべが使用に適しています。

– 底が磁性体でできているステンレス製のなべ

– ほうろう加工のスチール製のなべ

– 鋳鉄製のなべ

次のなべは使用に適していません。

– 底が磁性体でできていないステンレス製のなべ

– アルミ製または銅製のなべ

– ガラス、陶磁器、陶器でできたポットやなべ

ポットやなべが IH クッカーでの使用に適しているかどうかは、なべの底に磁石を近づけます。磁石がひきつけられれば、なべは使用に適しています。

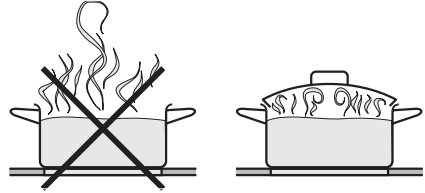
なべ底の特性により、食品が均一に加熱されるか否かが左右されます。

なべの大きさ

調理ゾーンを有効的に使用するために、なべの直径は、使用する調理ゾーンの内側のマークより大きく、外側のマークより小さくなければなりません。なべの直径が内側のマークより小さいと、誘導加熱は起こりません。なべが載っていない状態と同じ現象が起きます。

製造元が記載している最大径は、なべの上縁のことを示していることがよくあります。底の直径（一般的に上縁よりも小さい）の方が重要です。

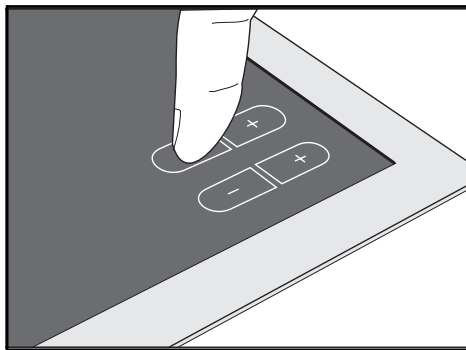
エネルギーを節約するための知識

熱が逃げるのを防ぐために、なべのふたを使用しましょう。

ふたをしていない場合

ふたをしている場合

センサースイッチの機能

本製品には電子センサースイッチが搭載されています。スイッチは指で触れると反応します。

調理ゾーンの操作には、該当するスイッチを使用します。センサースイッチにタッチすると、音が鳴り、スイッチの反応を知らせます。

センサースイッチの真ん中をタッチするように注意してください。スイッチ部は常に清潔に保ってください。スイッチの上に物を置かないでください。センサーが反応しなかったり、物や汚れにセンサーが反応して機能が作動したり、自動的に電源が切れる場合があります（「切り忘れ防止」の項を参照）。
センサースイッチの上に熱くなったなべを置かないでください。電子部品が損傷する恐れがあります。

本体の電源を入れる

各ゾーンを使えるようにするには、まず本体の電源を入れる必要があります。

本製品を使用している最中、本製品から離れないようにしてください。

本体の電源を入れるには

■ ON/OFF スイッチ ⓘ をタッチします。

タッチすると電源が入り、各ゾーンの表示は 0 となります。そのまま何もしないと安全のために数秒後に自動的に電源が切れ、0 は消えます。

調理ゾーンの電源を入れるには

■ −（マイナス）/ ＋（プラス）センサースイッチをタッチして、火力レベルを 1 ～ 9 の間で調節、または保温機能を選択します。

自動**加熱**で調理するには、最初に−（マイナス）センサースイッチを押します（「自動加熱」の項を参照）。自動**加熱なし**で調理するには、最初に＋（プラス）センサースイッチにタッチします。

他の調理ゾーンの電源を入れたい場合で、その該当ゾーンの 0 表示が消えてしまっている場合は、−（マイナス）/ ＋（プラス）センサースイッチに軽くタッチします。0 表示が再び表示され、自動加熱あり、なし両方の場合でも、火力レベルを設定することができます。

設定

調理プロセス	設定 *	
	工場出荷時の標準設定 （9 設定）	拡張設定 ** （17 設定）
保温	h	h
バターを溶かす ゼラチンを溶かす	1 ― 2	1 ― 2.
少量液体を温める 米を炊く 冷凍野菜を解凍する	3	3 ― 3.
液体または半固体の食品を温める オランデーズソースなどのソースに とろみをつける ライスプディングを作る オムレツや半熟の目玉焼きを作る 果物を蒸す	4	4 ― 4.
冷凍食品を解凍する 野菜や魚を蒸す コンソメ、豆スープなどを調理する	5	5
大量の食品を沸騰させる 煮込み料理をする	6	5. ― 6
肉（脂分を熱しすぎないで）、魚、野菜、 目玉焼きなどを油で軽く調理する	7	6. ― 7.
パンケーキなどを焼く	8	8 ― 8.
大量の水を沸かす 沸騰させる	9	9

*　上記の設定および数値は約 4 人前の目安と考えてください。なべが深い、量が多い、フタをしないなどの場合は、高めに設定する必要があります。また、少量では低めに調節してください。

**　設定を微調整したい場合は、火力調節の拡張設定を行うことができます（「プログラミング」の項を参照）。数値の横の点は中間設定を示します。

自動加熱

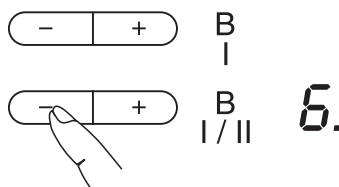
継続調理設定 *	加熱時間 （分：秒の概算値）
1	0：15
1.	0：15
2	0：15
2.	0：15
3	0：25
3.	0：25
4	0：50
4.	0：50
5	2：00
5.	5：50
6	5：50
6.	2：50
7	2：50
7.	2：50
8	2：50
8.	2：50
9	–

* 数値の横に点がついた継続調理設定時間は火力調節を拡張設定した場合のみ使用できます（「プログラミング」の項を参照）。

自動加熱がオンになると調理ゾーンは自動的に最も強火の調節でスイッチが入ります。一定時間強火で加熱した後、調理ゾーンは自動的に継続調理設定をした火力に切り換わります。選択した継続調理設定の強度によって、継続加熱する時間は異なります（表を参照）。

自動加熱中になべを調理ゾーンから外すと、自動加熱は中断します。3 分以内になべをゾーンに戻すと、加熱が再開します。

自動加熱をオンにするには

■ 所定の煮込み火力調節､たとえば 6 と表示されるまで－（マイナス）センサースイッチにタッチします。

加熱時間の間は表示ランプが火力調節右横に点灯して、加熱が完了すると消灯します。

加熱中に＋（プラス）センサースイッチをタッチすると、継続調理設定を高くすることができ、－（マイナス）センサースイッチをタッチすると、継続調理設定を低くすることができます。加熱時間は、選択した設定に応じて調整します。

拡張設定された火力設定では（「プログラミング」の項を参照）、継続調理の加熱が終わるまで A と加熱ランプが交互に点滅します。

ブースター

調理ゾーンにはすべてシングルブースター（Ⅰ）またはツインブースター（Ⅰ / Ⅱ）という火力レベルを上げる機能が備わっています（「各部の名称」の項を参照）。

ブースターをオンにすると、パスタをゆでるときなど大量の水を短時間で沸かすことができます。ブースター（Ⅰ）をオンにすると 10 分間、ブースター（Ⅱ）をオンにすると 15 分間、調理ゾーンが通常以上の火力レベルで加熱します。

ブースター機能は左側一箇所、右側一箇所の 2 箇所の調理ゾーンでしか同時に使用することできません。

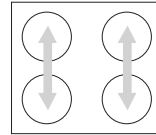
ブースター機能がオンになっている状態で

– 火力レベルが設定されていないと、ブースター稼動時間終了後、またはブースター機能が切られた時点で、自動的に火力レベル 9 に戻ります。

– 火力レベルが設定されると、ブースター稼動時間終了後、またはブースター機能が切られた時点で、自動的に設定された火力レベルに下がります。

ブースターがオンになっている間になべを調理ゾーンから外すと、ブースターが中断します。3 分以内になべをゾーンに戻すと、加熱が再開します。

ブースターの火力レベルをさらに上げるには、もう一方の調理ゾーンの火力を転用する必要があります。このため、調理ゾーンは下記の図のように、連結されています。

ブースターをオンにすると、次の反応が起きます。

– 連結した調理ゾーンで自動加熱機能を使用している場合、自動加熱機能のスイッチが切れます。

– 連結していないゾーンの火力が弱まることがます。

ブースター（Ⅱ）のスイッチを入れると、連結した調理ゾーンのスイッチが切れます。

ブースター機能（Ⅰ）を稼動させる

■ 必要であれば、該当する調理ゾーンのセンサースイッチにタッチします。

■ 該当調理ゾーンのブースターセンサースイッチ **B** にタッチします。

調理ゾーンの表示パネルに *I* が表示され、ブースターの表示ランプが点灯します。

ブースター機能（Ⅱ）を稼動させる

■ 必要であれば、該当する調理ゾーンのセンサースイッチをタッチします。

■ 該当調理ゾーンのブースターセンサースイッチ **B** をタッチします。

調理ゾーンの表示パネルに *I* が表示され、ブースターの表示ランプが点灯します。

■ もう一度、該当調理ゾーンのセンサースイッチ **B** をタッチします。

調理ゾーンの表示パネルに *II* が表示されます。

ブースター機能を解除する

ブースター機能は早めに解除することができます。

■ ブースターの表示ランプが消え、火力レベルが替わりに表示されるまで、該当する調理ゾーンの **B** センサースイッチを何回かタッチします。または該当調理ゾーンの**ー**（マイナス）センサースイッチをタッチします。

保温

各誘導加熱調理ゾーンには保温機能が備わっています。

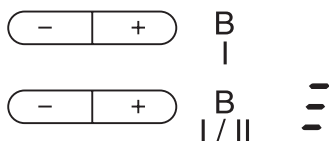
保温機能が稼動されると、調理ゾーンは最長 2 時間後に自動的にオフになります。

この機能はまだ熱い料理など、調理し終わった食品を保温するためのものです。冷えたしまった食品を温め直すための機能ではありません。

電源の切り方と余熱表示

調理ゾーンのスイッチを切る

■ 該当する調理ゾーンの＋（プラス）センサースイッチと－（マイナス）センサースイッチを**同時に**押します。

調理ゾーンの表示部に 0 が数秒間点灯します。まだ調理ゾーンが熱いのであれば、余熱表示が点灯します。

本体の電源を切るには

■ ON/OFF センサースイッチ ① をタッチします。

全調理ゾーンの電源が切られます。まだ熱い調理ゾーンの表示部には余熱表示が点灯します。

余熱表示のラインは、調理ゾーンが冷めるにつれて、1 本ずつ消灯します。最後の水平ラインは、調理ゾーンが触れても安全になって初めて消灯します。

調理ゾーンの電源を切ってある場合でも、ゾーンに皿などが置かれている場合、余熱表示ランプが反応します。

余熱表示ランプが点灯している間は、調理ゾーンに触れたり、熱に弱い物を置かないでください。

エラーメッセージが表示されているときは、調理ゾーンがまだ熱い場合でも、余熱表示ランプは点灯しないので、ご注意ください。

タイマーは 2 つの機能に対して使用することができます。

- キッチンタイマーとして設定する。
- 調理ゾーンのスイッチを自動的に切れるよう設定する。

1 分 (01) から 9 時間 30 分 (9.h) まで時間設定することができます。時間を 99 分 (99) 以上に設定する場合は、時間を 30 分単位で設定することができます。30 分は数値の横の点で表示されます。

－（マイナス）センサーを使用して 9.h から 00 と時間を短縮し、＋（プラス）センサーを使用して 00 から 9.h へと時間を拡張します。表示は 2h と 99 で止まります。設定の入力を続ける場合は、センサーから一瞬指を離し、再びタッチします。

設定された時間が経過すると、タイマー表示パネルに 00 が数秒間表示されます。お知らせ音が同時に鳴ります。お知らせ音を途中で切る場合は、◷ センサーをタッチします。

キッチンタイマー

キッチンタイマーを設定する

IH 本体の電源が入っていても、切れていても、キッチンタイマーを使用することができます。

■ ◷ , －（マイナス）または＋（プラス）センサーをタッチします。

タイマー表示パネルに 00 が表示され、キッチンタイマー表示ランプが点滅します。

■ 表示ランプが点滅している間に希望の時間が表示パネルに表示するまで＋（プラス）/ －（マイナス）センサーを押し続けます。

例）15 分

分単位で時間がカウントされます。残り時間が表示パネルに表示され、＋（プラス）/ －（マイナス）センサーを使用して、途中で変更することができます。

キッチンタイマーを解除する

■ ＋（プラス）センサーと－（マイナス）センサースイッチを同時に押します。

調理ゾーンを自動的にスイッチオフする

該当する調理ゾーンの火力調節が設定されている場合のみ、自動的にスイッチオフされるようプログラムすることができます。すべての調理ゾーンに対して、同時にプログラムすることができます。

最長使用可能時間よりもプログラムされた時間が長い場合は、最長使用可能時間が経った時点で、調理ゾーンの電源が切れます（該当セクションを参照）。

■ 使いたい調理ゾーンの火力レベルを調節します。例えば、いつも通りの方法で、奥右側。

■ ◷ センサーをタッチします。

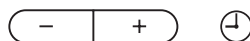
タイマー表示パネルに 00 が表示され、キッチンタイマー表示ランプが点滅します。

■ もう一度、◷ センサーをタッチします。

タイマー表示パネルのキッチンタイマー表示ランプが消え、調理ゾーンの自動スイッチオフ表示ランプが点滅します。

■ 複数の調理ゾーンが使用中の場合、この機能を使いたい調理ゾーンの横の表示ランプが点滅するまで ◷ センサーを数回タッチします。例えば、奥右側。

使用中調理ゾーンの表示ランプは手前左側からはじまって、時計回りの順に点灯します。

■ 希望の時間が表示パネルに表示されるまで、＋（プラス）センサー / －（マイナス）センサースイッチをタッチします。例えば、15 分。

分単位で時間がカウントされます。残り時間が表示パネルに表示され、＋（プラス）/ －（マイナス）センサーを使用して、途中で変更することができます。

別の調理ゾーンも自動的に電源を切るように設定したい場合は、上記に説明されている手順で同じように行います。

複数の自動スイッチオフ時間が設定されている場合は、表示パネルには一番短い残り時間が表示され、該当調理ゾーンの表示ランプが点滅します。他の表示ランプは常時点灯します。別の調理ゾーンの残り時間を確認する場合は、希望のゾーンの表示ランプが点滅するまで ◷ センサーをタッチします。

両方のタイマー機能を同時に使う

キッチンタイマーと自動スイッチオフ機能を同時に使うことができます。

- １つ以上の自動スイッチオフ時間を設定しており、かつ**キッチンタイマーも**使う場合：
  キッチンタイマー表示ランプが点滅するまで ◴ センサーを数回タッチします。

- キッチンタイマーを使用しており、かつ自動スイッチオフ時間**も**１つ以上プログラムする場合：
  該当する調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで ◴ センサーを数回タッチします。

最後の入力後、間もなくして、表示パネルに一番短い残り時間が表示されます。別の調理ゾーンの残り時間を確認する場合は、希望のゾーンの表示ランプが点滅するまで ◴ センサーをタッチします。

表示パネルに表示されている一番短い残り時間からはじまり、使用中の調理ゾーンとキッチンタイマーは時計回りの順に選択します。

セーフティロック/システムロック

安全のため、IH クッカーにお子様を近づけないようにしてください。

本製品にはセーフティロックを備えて、本体や調理ゾーンの電源を入れたり、設定を変えることができないようにしてあります。

セーフティロックは本体の電源が入ると、かかります。セーフティロックがかかると :

- 調理ゾーンの設定、およびタイマーの設定は変更できません。
- 調理ゾーンや本体の電源を切ることはできますが、一度電源を切ると再度、本体の電源を入れることはできません。

本体の電源が切れているとき、**システムロック**がかかります。システムロックがかかっていると、本体の電源を入れることができず、タイマーを使用することができません。

システムロックをかけるには手動で行わなければならないよう、本体は設定されています。本体の電源を切ってから 5 分後に自動的にシステムロックがかかるよう、設定を変えることができます（「プログラミング」の項を参照）。

セーフティロックやシステムロックがかかっている時にセンサースイッチをタッチすると、表示ランプが点灯します。

電源が遮断された場合は、セーフティロックとシステムロックは解除されます。

ロックをかける

■ 該当の表示ランプが点灯するまで センサーをタッチします。

該当の表示ランプはしばらくすると、消えます。

お子様が操作しにくくするために、操作方法を 1 本指から 3 本指に変更することができます（「プログラミング」の項を参照）。

ロックを解除する

■ 表示ランプが消えるまで センサーをタッチします。

「Stop and Go」

本製品には「Stop and Go」機能が備わっています。この機能は、調理中に電話がかかってきたり、お届け物があった際など、一時的に調理を中断したい場合に便利です。稼働すると、全ての使用中の調理ゾーンが設定 1 に戻ります。「Stop and Go」が解除されると、調理ゾーンは最後に設定された火力レベルに戻ります。「Stop and Go」が解除されていないと、本体の電源は 1 時間後に切れます。

この機能を使用する場合は、工場出荷時の初期設定を変更する必要があります（「プログラミング」の項を参照）。

調理ゾーンに自動スイッチオフが設定されている場合、「Stop and Go」を稼働させると、電源を切る時間までのカウントが中断されます。「Stop and Go」が解除されている場合は、自動スイッチオフ設定は中断されることなく、続行します。

キッチンタイマーが設定されている場合、「Stop and Go」に影響されず、続行します。

「Stop and Go」を稼働させる

■ ビープ音が2回連続して鳴るまで 🔒 センサーをタッチします。
🔒 センサーを長くタッチしすぎると、セーフティロックがかかってしまうので、ご注意ください。

セーフティロックの表示ランプが点滅し始めます。使用中の調理ゾーンの火力レベルは設定 1 に戻り、調理ゾーンの表示パネルには 1 が表示されます。

「Stop and Go」を解除する

■ 表示ランプが消えるまで 🔒 センサーをタッチします。

調理ゾーンは前回に設定された火力レベルで加熱します。

安全のための機能

切り忘れ防止

本製品には万が一切り忘れた場合の安全スイッチオフ機能が搭載されています。

超過調理時間での切り忘れ防止

調理ゾーンのいずれかが通常の加熱時間（下表を参照）より長く加熱され、その間火力調節スイッチに一切タッチしないでいると、自動的に本体の電源が切れて対応する余熱表示が出ます。

調理ゾーンを再度使用する場合は、通常通りの方法で再度電源を入れます。

火力設定 *	最大運転時間（時間）
h	2
1/1.	10
2/2.	5
3/3.	5
4/4.	4
5/5.	3
6/6.	2
7/7.	2
8/8.	2
9	1

* 数値の横に点がついた継続調理設定時間は火力調節を拡張設定した場合のみ使用できます（「プログラミング」の項を参照）。

センサースイッチの上に煮こぼれした場合の電源切断

指先が触れたり、煮こぼれ、オーブンミトン、ふきんなどによってセンサースイッチが 10 秒以上覆われると、自動的に本体の電源が切れます。30 秒おきにお知らせ音が鳴り（最長 10 分間）、覆われているセンサースイッチの表示パネルには F が点滅します。

■ 操作部をきれいにするか、物を取り除いてください。

お知らせ音が止み、F 表示が消えます。

■ ON/OFF センサースイッチ ⓘ にタッチして本体の電源を入れ直してください。これで調理ゾーンを再び通常通り使用することができます。

過熱防止装置

電気回路の誘導加熱コイルと冷却熱線すべてには過熱防止装置が備わっています。誘導加熱コイルと冷却熱線が過熱するのを防ぐために、過熱防止装置が該当調理ゾーンや本体全体に対して下記のように作動します。

– ブースター機能が使用中の場合は、ブースターのスイッチが切れます。

– 火力レベルが下がります。

– 誘導加熱コイルに作用する場合は、エラーメッセージ FE99 が表示され、本体の電源が切れます。

エラーメッセージは消え、まだ熱い調理ゾーンに対して余熱表示が表示されます。

誘導加熱コイルが十分に冷めないと、本体を使用することはできません。

– 冷却熱線に作用する場合は、調理ゾーンの火力が下がり、設定された火力レベルがそのまま表示されます。

冷却熱線が十分に冷めると、調理ゾーンは設定された火力レベルに自動的に戻ります。

過熱は次のような場合に起こります。

– なべを空だきした場合。

– 最大火力設定で油などが加熱されている場合。

– 本体の下部の換気が十分に行われていない場合。

過熱原因を取り除いた後も過熱防止装置が作動する場合は、「コールセンター」までお問い合わせください。

掃除とお手入れ

> ⚠ **本製品を掃除する時は、スチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。**

セラミックプレート表面は定期的に、できれば使用するたびにクリーニングしてください。

本体が冷めてからクリーニングしてください。

水の跡や石灰積が残らないように、表面を水で掃除した後、乾いた布巾等で拭き取ってください。

本体の表面を損傷する恐れがあるので、下記のものを使用しないでください。

- 炭酸、アルカリ、アンモニア、酸や塩素を含む洗剤
- カルキ除去剤
- 染み抜きやさび取り
- 研磨剤を含むクレンザー類
- 溶剤を含む洗剤
- 食器洗浄機用洗剤
- グリルやオーブン用洗剤
- ガラス用洗剤
- たわしなど、研磨作用のあるスポンジやブラシ類
  例えば、なべ用たわし、以前に研磨剤をつけて使用したブラシやスポンジ
- セラミック表面と周辺フレームとの間や、フレームと天板との間のシールを破損するような先の尖ったもの

セラミック表面

汚れは、湿った布で拭き取ってください。しつこい汚れは、傷のつかないスクレーパでこすり落としてください。

次にキッチンペーパーやきれいな布を使って、専用のセラミック面およびステンレス面 IH クッカー用のクリーナーで掃除します。跡が残ってしまうため、本体が熱いうちは洗剤を使用しないでください。クリーナーのパッケージの説明書をよく読み、指示に従ってください。

最後に、湿らせた布でセラミック表面を拭き取り、柔らかい清潔な布で拭いて乾かします。クリーナーの跡を確実に落してください。クリーナーの跡が残っていると、加熱した場合にこげつき、本体の表面が損傷することがあります。

しみ

油、水、アルミ痕（金属性のしみ）はセラミックおよびステンレス面 IH クッカー用クリーナーを使って落とすことができます。

使用中の熱い調理ゾーンに**砂糖**がこぼれたり、**プラスチックやアルミ箔**が落ちた場合は、まず本製品のスイッチを切ってください。それから冷めないうちに残っている砂糖やプラスチック、アルミを傷のつかないスクレーパで丹念にこすり落としてください。やけどしないように注意してください。クッカーが十分に冷めてから、適切なセラミックおよびステンレス面専用のクリーナーでクリーニングしてください。

プログラミング

本体のプログラムオプションの標準設定を変更できます（表を参照）。

■ 本製品の電源を切り、セーフティロックの表示ランプが点滅するまで、本体のON/OFF センサー Ⓘ とセーフティロックセンサー 🔒 を**同時に**タッチします。

調理ゾーン表示パネルに P（プログラム）と S（ステータス）が表示され、現在設定されている番号が表示されます（表を参照）。

■ ＋（プラス）/ －（マイナス）センサースイッチをタッチして、まず**手前左側**の調理ゾーンに希望する**プログラム**を選択します。次に、＋（プラス）/ －（マイナス）センサースイッチをタッチして、**手前右側**の調理ゾーンに希望する**ステータス**を選択します（表を参照）。このようにして、次々とプログラムを変えることができます。

新しい設定を**メモリ**に保存するには、表示が消えるまで本体の ON/OFF センサースイッチ Ⓘ をタッチします。
設定をメモリに保存**したくない**場合は、表示が消えるまで、セーフティロックセンサー 🔒 をタッチします。

プログラム *	ステータス **	設定
P 0 デモモードおよび工場出荷時の初期設定	S 0	デモモード ON
	S 1	デモモード OFF
	S 9	工場出荷時の初期設定に復旧
P 1 Stop and Go	**S 0**	OFF
	S 1	ON
P 2 火力調節段階	**S 0**	9 段階火力レベル（1,2,3... 9 まで）
	S 1	17 段階火力レベル（1,1.,2,2.,3... 9 まで）自動加熱機能が選択されていると、表示パネルには A と継続調理設定の表示が交互に点滅します。
P 3 なべが載っていない、または不適切ななべが載っていると、誘導加熱装置から警告音が鳴る	S 0	OFF
	S 1	小音量
	S 2	中音量
	S 3	大音量
P 4 センサーにタッチすると、キーパッドから音が鳴る	S 0	OFF
	S 1	小音量
	S 2	中音量
	S 3	大音量
P 5 タイマーのお知らせ音	S 0	OFF
	S 1	10 秒間の小音量のお知らせ音
	S 2	10 秒間の中音量のお知らせ音
	S 3	10 秒間の大音量のお知らせ音

* ここに表示されていないプログラム / ステータスに関してはアロケーションがありません。

** 工場出荷時のデフォルト設定は太字で示されています。

プログラミング

プログラム *	ステータス **	設定
P 6 セーフティロック	**S 0** S 1	を使った 1 本指操作ロック および、＋を使った右側 2 つの調理ゾーンにおける 3 本指操作ロック
P 7 システムロック	**S 0** S 1	手動でシステムロックをかける 自動でシステムロックをかける
P 8 自動加熱装置	S 0 **S 1**	OFF ON
P 0. ミーレ@ホーム ー 通信モジュール搭載の通信可能な機器のみ対応	**S 0** S 1 S 2 o	機能が搭載されていない サインオフ サインオン サインオン / オフ稼働中（表示ランプ）
P 6. センサースイッチ反応速度	S 0 **S 1** S 2	SLOW NORMAL(300 ms) RAPID

*　ここに表示されていないプログラムに関してはアロケーションがありません。

**　工場出荷時のデフォルト設定は太字で示されています。

電気器具の設置作業および修理は、有資格者が、地方自治体および国の定める安全基準に従って行う必要があります。無資格者による修理は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。
メンテナンス作業や修理が完了するまで、本製品を電源に接続しないでください。

問題	考えられる原因と解決方法
本体や調理ゾーンの電源が入らない。	以下のことを確認してください。 ー 使用に適したなべを使っていますか？ ー セーフティロックがオンになっていませんか？ 　必要な場合はオフにしてください 　(「セーフティロック」の項を参照)。 ー ブレーカー（ヒューズ）が落ちていませんか？ 　上記のいずれにも該当しない場合は、本製品の電源を約 1 分間、遮断します。本製品を電源から完全に絶縁するには、次を行います。 ー 断路器で電源を切ります。 ー コンセントから電源プラグを抜いて電源を切ります。 ー ブレーカー（ヒューズ）を切ります。 再び電源プラグを差し込み、本体の電源を入れます。それでも電源が入らないようであれば、電気の有資格者か、またはミーレの「コールセンター」にお問い合わせください。
初めて本体を使うとき、変な臭いがする、または煙が出る	臭いや煙は接続不良や本製品の故障が原因ではありません。また、人体に有害でもありません。
本体の電源を入れて、火力調節ができるが、調理ゾーンが加熱しない。	間違って、デモモードを設定していないか確認してください(「プログラミング」の項を参照)。
調理ゾーンの表示パネルに u̲ が表示されている。	以下のことを確認してください。 ー なべが載っていないのに、誤ってゾーンのスイッチが入っていませんか？ ー 誘導加熱ゾーンでの使用に適した、十分な大きさのなべを使用していますか？ 　(「なべ」の項を参照)。
調理ゾーンまたは IH クッカー全体のスイッチが自動的に切れる。	切り忘れ防止機能または過熱防止装置が作動しています (「切り忘れ防止」および「過熱防止装置」の項を参照)。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因と解決方法
次のような状況が起こる。	ー ブースター機能が時間よりも早く自動的に切れる。 ー 選択されている火力設定が弱まる。 ー 設定した火力レベルでいつものように調理ゾーンが加熱しない。 過熱防止装置が作動しています（「過熱防止装置」の項を参照）。
自動加熱機能がオンになると、なべの中身がなかなか加熱されなかったり、全く加熱されない。	次の原因が考えられます。 ー なべの中身が多すぎる。 ー なべの熱伝導が悪い。 次回に強火で継続調理機能を設定、または強火で再開して後で弱火に火加減します。
IH クッカーのスイッチが切れた後も、冷却ファンが運転を続ける。	これは故障ではありません。ファンは本製品が完全に冷めるまで運転を続けます。その後、自動的にスイッチが切れます。
奥の調理ゾーンの表示パネルに F が表示され、手前の調理ゾーンの表示パネルに E が表示され、タイマー表示パネルに数値が表示されている。	FE99： 誘導加熱コイルの過熱防止装置が作動しています。調理ゾーンの温度が安全なレベルに下がると、再び使用することができます。 他のエラーメッセージが表示される： 約 1 分間、本体の電源を切ります。 本体を電源に再接続しても、問題が解決しない場合は、お近くの「コールセンター」にご連絡ください。

電源接続

電気系統の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準に従って適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源が切ってあることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。帯電部は露出させないでください。

本製品を、延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合った断路器を経由して行ってください。

また、開閉スイッチは容易に点検できる位置に設けることが必要です。

<重要>

2 極・接地極付 30A 専用コンセントコードにて納品されます。

コンセント形状を確認の上、確実に接続してください。

<警告>

本製品は、必ず接地してください。

<重要>

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地系との連続性が完備して初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地系の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的あるいは間接的な不正な設置や接続によるいずれの被害や損害の製造者責任も負いかねます。

アフターサービス、型式表示シール

故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

－　ミーレ販売代理店

－　ミーレ・ジャパンのコールセンター（裏表紙を参照）

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

愛情点検

長年ご使用のIHクッカーの点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

- ●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
- ●運転中に異常な音や振動がする
- ●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- ●クッカーにさわるとビリビリ電気を感じる
- ●その他の異常や故障がある

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コールセンター 0120-310-229（ユーザー専用･月ー金 9:00-17:30）

〒150-0044 東京都渋谷区円山町3-6 E･スペースタワー11F（本社）1F（ショールーム）

1609

www.miele.co.jp

M.-Nr. 07 594 120 / 00